

●地域発 埼玉県

結社の声——わが主張

「爽樹」

代表 勝浦敏幸

●結社の成り立ち・歴史

「爽樹」は、平成二十三年一月に創刊された。令和八年一月には創刊十五周年を迎える。

平成二十二年四月に遠嶺俳句会の小澤克己主宰が急逝、一誌一代の遺志により「遠嶺」が終刊となったため、幹部同人が中心となり、平成二十二年九月に爽樹俳句会を創立



令和6年7月号



勝浦敏幸代表

した。創立に当たり、遠嶺俳句会の「情景主義」を指導理念として継承することを明らかにするとともに、四項目からなる運営理念を打ち出した。

(一) 任期のある代表制

役員会、代議員会による民主的運営。

(二) 集団指導体制

各句会の選や指導を複数の指導者が行う。

(三) 「爽樹」の同人誌的編集

会員の作品は五十音順・循環制により掲載する。

(四) オープンな会計

全ての収支は報告し、謝礼を含め活動経費は支払う。

(一) の「任期のある代表制」は、実践されている。

初代小山徳夫（平成二十二年～二十五年）、二代川口襄（平成二十六年～令和元年）、三代河瀬俊彦（令和二年～令和五年度）の後を受け、令和六年四月に勝浦が引き継いでいる。

●わが主張

句会の高齢化が進み、句会を継続できなくなるケースが開始した。楽しく和やかに俳句を継続していける環境を守